

曽野木のまちづくり ～公共施設のこれから～

<発行者>
地域別実行計画コミュニケーション事務局
(江南区地域課：Tel.025-382-4619
市財産活用課：Tel.025-226-2387)
平成28年12月発行

新潟市では、平成27年7月に「財産経営推進計画」が策定されました。この計画は、将来世代に過度な負担を強いることのないよう、市有財産の効率的な管理・利活用を図っていくための方針を定めたものです。

この計画に基づき、身近な公共施設については、地域のみなさんと市・区役所が協働で、そのあり方について検討していきます。

曽野木地域では、市営住宅跡地活用について、住民主体で検討がされてきました。また、市では、曽野木・第二曽野木保育園について、老朽化による統合を検討することとしています。

これらをきっかけとして、市営住宅跡地の活用や、保育園を含めた地域の公共施設のあり方について、地域のみなさんと市・区役所がともに考えるワークショップが開催されています。



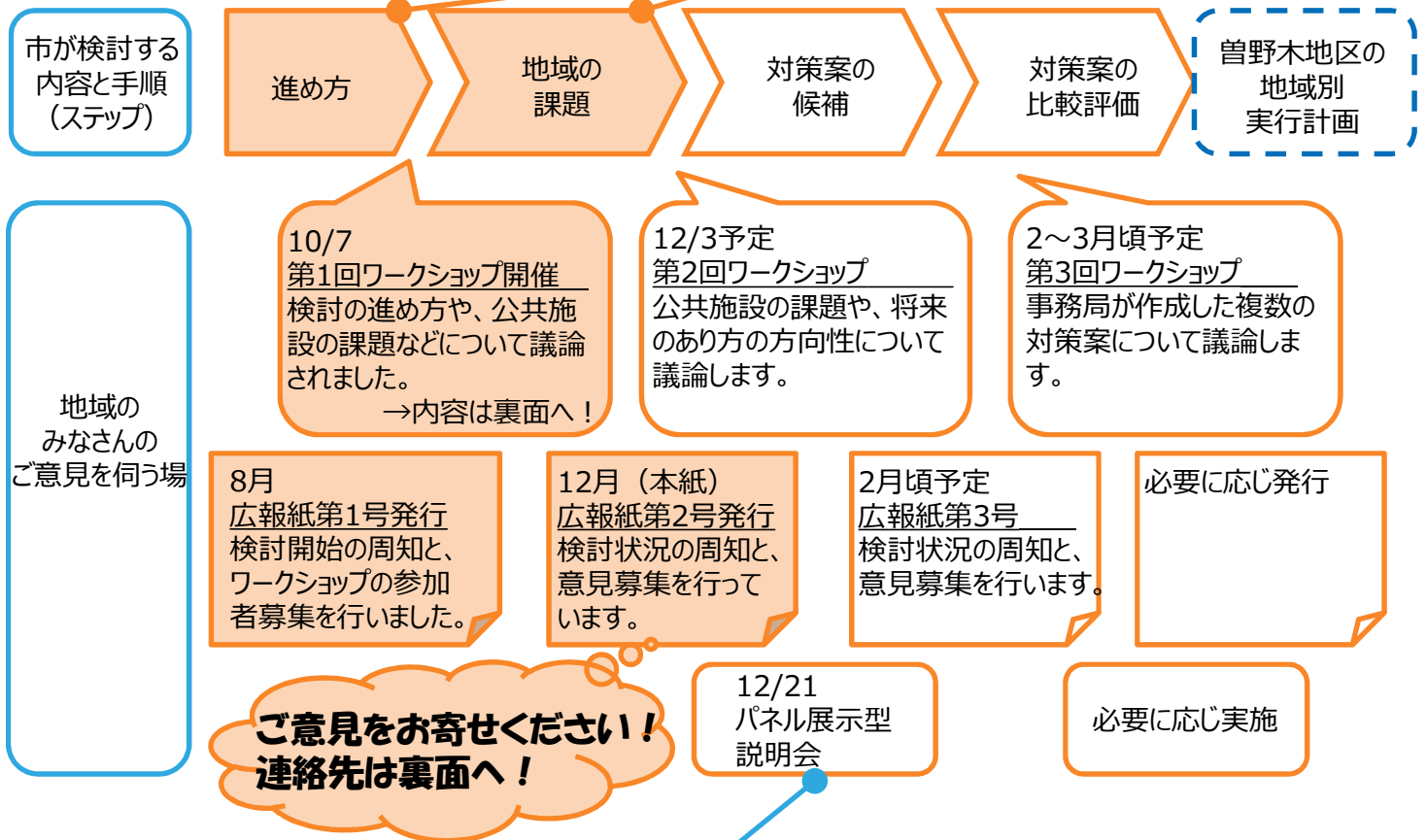
第1回ワークショップの様子

「地域別実行計画」の検討のすすめかた

新潟市は、ワークショップなどで得られた成果をもとに、ステップ（下図の上段）に分けて検討を行い、地域の公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」を策定します。

ステップに合わせ、ワークショップ・広報紙・パネル展示型説明会などの方法で、広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映します。

現在、検討を進めています！



12月21日（水）午前9時から午後6時まで
曽野木連絡所 1階 会議室にて開催します。
担当職員がパネルをもとに検討状況を説明し、意見をお聞きします。
ぜひ、ご来場ください！（パネルと意見箱は、1月9日まで、公民館1階に設置します）

第1回ワークショップでの議論の内容(抜粋)

財産経営推進計画の基本的な考え方

- 市全体でどんな機能を持つ施設が必要か検討した上で、江南区にはどんな機能を持つ施設があるべきか考え、最適化を進めていく必要があるのでは。
- 子どもを見守り育てることができる地域、高齢者が安心して暮らせる地域という将来像を描いて、それを目指して地域にどんな機能を持った施設が必要か考えたい。
- 利用率だけを基準にして最適化を考えてほしくない。
- 他の地区の施設を利用するという考え方もあるだろうが、高速道路を堺にエリアとしては分断されている意識が強い。生活する上で必要な公共施設が地区内に揃っていることが大切。
- 単純に人口を基準にするのではなく、実情に合わせた施設配置を考えていく必要があるのでは。
- 施設を分散させる場合、機能分担し、相互のアクセス性を高めて行き来できるようにするのが望ましい。

公共施設に対する提案・要望

<望まれる機能>

- 高齢者と子どもが交流できる居場所があれば、地域が活気づくと思う。市営住宅跡地に複合できないか。
- 高齢化社会に対応し、健康センターを健康維持の施設にしたり、公民館を高齢者の交流の場にできると良い。
- 公民館よりも大きなスペースのホールがもう1つほしい。曾野木団地周辺に施設ができれば、2つのホールで分担しながら地区内でイベントを開催できる。
- 中高生のための学習スペースやスポーツ施設が地区内にあると良い。
- 東曾野木小区に、小学生も大人も通える図書館がほしい。
- 保育園の統合が検討されているが、統合して施設が充実し、広い駐車場も整備されるなら、むしろ歓迎する。
- 健康センターや近隣の病院がなくなったので、診療所を設けて定期的に出張診療を受けられるといい。
- 舞平公園は、災害時に避難場所としても機能するよう、かまどベンチなど防災施設を充実させてほしい。
- 子どもが住みやすい環境を整えると言っても、まずは親世代が来なければダメなので、30~40代が満足できるサービスを充実させれば人口が増えるのでは。

<市営住宅跡地>

- 公民館周辺エリアと曾野木団地エリアは、物理的にも意識的にも距離があり、コミュニティも分かれてしまう傾向があるので、新しくコミュニティ施設をつくることで地域の一体感を形成したい。
- 公民館エリアの住民にとっても行きやすく、団地エリアとの交流が促進できるように、区バスなどでアクセスを良くする工夫が必要。
- 多機能化・複合化すれば、さまざまな機能を持った施設ができるので、利便性が高まることに期待している。
- 避難所利用できるように、3階建て以上、防災備蓄倉庫などの防災設備を充実してほしい。
- 青少年の健全育成につながるものになると良い。
- 販売所などを複合しても、利用しないと維持できない。住民にとって身近で、利用したくなる施設になることが大切。
- 複合施設ができて、コミュニティ協議会に管理が委託されるとしたら、事故の際の責任の所在が気になる。

公共施設の現状の課題

<地区内の施設バランス>

- 公共施設が公民館周辺に集中しているため、住んでいる場所によっては、遠く、不便。
- 曾野木団地の周辺には、大きめの会議ができる集会施設や高齢者向け施設がない。高齢化が進み、移動も大変になってきているので、同様の施設がほしい。

<施設までのアクセス>

- 公民館に向かう道路に歩道がなく、照明が暗く、歩くのは危険。駐車場が狭く、車でも行きにくい。
- 高齢になって運転できなくなると、徒歩圏に店舗や病院などが不足しているため不便。
- 区バスの本数が少なく、使い勝手が悪いので、改善してほしい。

<利用率・運営方法・使い勝手>

- 広いスペースが公民館のホール以外ないため、予約が取りづらい。スペースが狭く入りきれない場合もある。
- 施設によって、利用率に差が出てきている。
- 公共施設は何をしているか分からず入りにくい雰囲気があり、利用の仕方も分かりにくい。情報発信や認知度を上げるなどの工夫が必要では。
- 公民館内の図書室は開館日数が限られており、狭くて学習スペースもあまりないので使いづらい。
- 学校の体育館は個人利用できず、ルールも厳しく使いづらい。
- 地区内に連絡所があるのは便利。

<子育て支援>

- 地区外からの保育園利用者も多く、地元住民が入れない。
- 保育園の駐車場が少ないため、朝夕やイベント時は多数の路上駐車が発生し、近隣から苦情が出ている。
- 東曾野木ひまわりクラブを、小学校と併設（隣接）できないか。
- 子どもが屋内で遊べる場や、親子で憩える公園がない。
- 小学生は子どもだけで学区外に出れないという規制があるので、ルールの改善とともに東曾野木小周辺にもイベントが開催できる施設が必要。
- 中高生の学習スペースがなく、市街地まで足を延ばしている。区バスの時間も限られているので、近くにほしい。

<避難所>

- 避難所は身近な場所に分散して配置してほしい。
- 場所によっては、津波や洪水の際の避難に適した高層の公共施設がなく、高齢者などは近くに避難場所がないと不安。
- 避難所までの経路となる道路の広さなどにも配慮してほしい。

検討の進め方

- 3回だけで意見がまとまるのか心配。
- 幅広い層の意見を聞いた方が良いので、時間帯を固定せずに、平日夜間、休日などいろいろなパターンで開催しては。
- 若い世代がいると、幅広い意見が聞けると思う。

その他

- 現状では、地域活動の各組織は小学校区単位になっているので、中学校区単位でのルールづくりをしていくためにも、組織再編を検討する必要があるのでは。

ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局
(江南区地域課・新潟市財産活用課)

みなさんのご意見をお寄せください!



江南区親善大使：十全さん(曾野木地区出身) →

郵便

〒950-0195
新潟市江南区泉町3-4-5

電話

025-382-4619

FAX

025-381-7090

メール

chiiki.k@city.niigata.lg.jp